

WUF10に出展しました

国連ハビタットは、持続可能な都市とコミュニティ発展に向けた諸問題を議論するために、2年に1度World Urban Forum(WUF)という国際会議を開催しています。10回目となる今回は、アラブ首長国連邦で2020年2月8日～13日にかけて行われ、168力国から13,000人以上の人が参加しました。今回、日本ハビタット協会は、初めてブース出展を行い、多くの来場者の方にスマイルトイレプロジェクトについて知っていただくことができました。その様子を動画にまとめHPIに掲載しています。



理事会・総会の開催

2020年5月11日、第26回理事会と第18回総会を開催しました。理事会において、武濤研二郎理事が退任され、その後任として、福岡県企画・地域振興部国際局長の古川弘信氏が理事に就任いたしました。武濤氏の長年にわたるご貢献に心から感謝申し上げます。

日本ハビタット協会は、2021年3月に設立20周年を迎えます。これまで培ってきた経験と技術を活かし、世界的な課題であるSDGs(持続可能な開発目標)の達成に寄与するとともに、持続可能な地域社会の創造に貢献するため、国内外において、事業を積極的に展開していきます。

ハビタットクイズ?! 世界中のコインやお札を見比べてみると、国ごとの特徴や歴史が描かれているよ! また世界の国では様々な単位のお金が使われているんだ。



Q1

オリンピックに合わせて、開催地では記念コインが発行されるよ。
初めてオリンピックの記念コインが発行されたのはどの大会でしょう。

- ① 1948年 ロンドン大会 ② 1952年 ヘルシンキ大会 ③ 1956年 メルボルン大会
④ 1960年 ローマ大会 ⑤ 1964年 東京大会



Q2

世界ではいろんな単位のお金が流通しているよ。次の5種類のコインを価値の高い順に並べてみよう。

- ① 500円(日本) ② 2ポンド(イギリス) ③ 500ウォン(韓国) ④ 2ドル(オーストラリア)

ご協力いただきありがとうございます

2019年11月1日 ～ 2020年5月31日
(敬称略・順不同)

みなさまのご支援ご協力により、多くの国と地域において、まちづくり事業を実施することができています。心から感謝申し上げます。

会費 (株)新橋スタンプ商会、寺嶋 恵子、富成 倫子、富取 善彦、長野 峯子、松田 美幸、平井 功、今井 則余、松井 昌子、上山 佳彦、原 雄次郎、田村 哲夫、本郷 譲、五十嵐 滋、今井 一彦、坂本 春生、水上 美佐子、中村 勇、富岡 勉後援会、奥野 照義、金子 じゅん子、三島 康雄、藤本 貴也、兼平 剛志、大崎 博之、江幡 真喜子、清水 雄二、中村 幸子、佐藤 和恵、酒井 純子、丹波 佐和子、松本 賢次、紋田 廣子、新井 てつお、堤 優子、柳瀬 コミ、鬼頭 猛、澤渡 好子、丸井 聡、藤田 毅、橋渡 チェノ

ご寄附 SI 博多・熊本一さくら・長崎ガーランド・宮崎、(有)岩田時計店、(株)エッチアールディ、(株)エブリワンダイン、大阪マラソン、(株)しげ吉、(株)新橋スタンプ商会、(株)フロンティア、世田谷清掃局、ハビタット福岡市民の会、JSCO、麻生 太郎、綾間 由美、新井 てつお、池田 幸雄、伊藤 志朗、伊藤 豊、今井 一彦、今井 則余、江幡 真喜子、大木 京子、大隅 道子、大島 政子、太田 祥歌、大村 信夫、小家 進、岡田 耕造、勝又 宏幸、葛城 慶太、葛城 新平、金子 じゅん子、兼平 剛志、鬼頭 猛、窪田 浩司、佐藤 和恵、佐藤 美華、篠原 大作、島田 恵、清水 雄二、白井 あずさ、杉山 綾香、竹中 完和、田中 正昭、丹波 佐和子、寺嶋 恵子、中井 禮子、中嶋 健治、中野 誠也、中村 勇、錦織 葆、西山 絵美、野田 泰子、長谷川 隆徳、花島 光男、原 雄次郎、樋口 謙一郎、平井 功、平野 伸吾、藤岡 美千代、藤岡 美江子、船曳 妙子、丸井 聡、松田 美幸、三島 康雄、水口 喜美子、宮本 弘子、持澤 真祐子、山際 則子、山本 嘉彦・博子、山本 高央・雅子、吉野 和子、米田 智美、HSUNG KAI、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際ターミナル(株)、新千歳国際ターミナルビルディング(株)、福岡空港ビルディング(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体

切手・書き損じハガキ等 成田国際空港(株)、(株)ジェシービー、住友商事(株)、福岡県東京事務所分室、鎌滝 たみ子、曾我 洋子、原田 絢子、山際 則子、簾恵美子、高木 洋一、金城 隼夷

ご協力いただいた方及び団体 国連ハビタット福岡本部、国連ハビタット福岡本部協力委員会、福岡県、東京福岡県人会、千代田区社会福祉協議会、ちよだボランティアセンター、国際協力機構(JICA)、地球環境基金、青山学院大学、麗澤大学、順天堂中学高等学校、和洋九段女子中学高等学校、福岡県男女共同参画センター「あすばる」、ソフトバンクモバイル、シャンドゥ ミュリエ、(株)エッチアールディ、(株)電通、東洋アルミニウム(株)、ニューサンノー、半蔵門駅前郵便局、トラベルクリエイターズ、トラベックス、世田谷区清掃局、こどもの夢ネットワーク、(社)日本フィランソピー協会、(一財)シルクセンター国際貿易観光会館、ハビタット福岡市民の会、アジアの女性と子どもネットワーク、SOS 子どもの村 JAPAN、ヤマダ会、森下歯科医院、新宿諏訪神社、ボランティア・ハビタットフレンズの皆様

コインわけにご協力いただいた企業・学校 シトリックス・システムズ・ジャパン、日本郵船(株)、日本たばこ産業株式会社、(株)電通、ザ・ボディショップ

募金箱設置にご協力いただいた企業等 成田国際空港(株)、東京国際ターミナル(株)、新千歳空港ターミナルビルディング(株)、中部国際空港(株)、関西国際空港(株)、福岡空港ビルディング(株)、博多港開発・西部ガス共同事業体、長崎空港ビルディング(株)、那覇空港ビルディング(株)、逗子文化プラザ市民交流センター、(有)岩田時計店、珈琲店ストーンズ、AOKI、(株)新橋スタンプ商会、シトリックス・システムズ・ジャパン

〒102-0092 東京都千代田区千代田 2-12 藤和半蔵門コープ 103 号 TEL / FAX : 03-3512-0355 E-mail : info@habitat.or.jp / URL : https://www.habitat.or.jp

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会(発行責任 篠原大作／編集責任 山本 博子)

〒102-0092 東京都千代田区千代田 2-12 藤和半蔵門コープ 103 号 TEL / FAX : 03-3512-0355 E-mail : info@habitat.or.jp / URL : https://www.habitat.or.jp

2020年7月発行



HABITAT 日本ハビタット協会

まちづくり通信 No. 37

日本ハビタット協会は、国連ハビタットと共に世界中の人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています



ラオス

子どもの生活環境改善事業の歩み

日本ハビタット協会は、各地で持続可能なまちづくり事業を実施しています。私たちの事業で最も重要なことは、参加する地域の人を育てるということです。地域の人々と一緒に、その地域が抱える問題を解決するための方法を考え、専門家による技術指導等を通して人々が知識や技術を習得することで、取り組みが継続していく仕組みづくりを行っています。

そうした中で、ラオス事業の開始初期から、まちづくりの次世代の担い手の育成として、子どもたちの支援にも力を入れてきました。子どもたちが安心して生活し、学びを深めることができる環境を、学校を中心に整えています。2018 年からは、環境教育プロジェクトを通して、子どもたちを取り巻く身近な環境問題を学びながら、対処していく力を身につけるよう支援を行っています。

そして、単に将来の担い手としての子どもを支援するだけでなく、地域の大人たちの変化にもつながっています。親や先生、地域の若者とともに、子どもたちに暮らしやすい地域の実現を考えることで、様々なアイデアや行動が生まれています。

日本ハビタット協会

SDGs Project



将来の夢が広がります

学校給水設備支援

学校に給水設備やトイレの建設を支援してきました。先生や地域の人々が建設に携わり、運営方法を考え実践することで、故障した際も、自分たちで協力して修理し、使い続けることが可能になっています。



教科書プロジェクト

一人一冊の教科書が使えることにより、家庭での教科書の使い方や宿題のサポートについて先生がアドバイスするようになりました。子どもたちが家でも勉強することで、親も教育の大切さをさらに実感するようになりました。



1日3食プロジェクト

学校に養鶏技術が根付くだけでなく、先生と生徒の間でコミュニケーションが生まれ、子どもの生活状況が把握できるようになりました。先生が生徒の状況を把握することで、どのようなサポートが必要か行政や親とも話し合えるようになりました。



環境教育プロジェクト

大学生と協力しながら、中学校で森林保全、ゴミ分別、農業をテーマに環境教育を実施しています。地域の学生から子どもたちへの技術指導がされることで、子どもの能力強化だけでなく、地域の環境リーダーの育成につながっています。



子どもと女性を最優先に

マリ・クリスティーヌ

新型コロナウイルスの世界的流行がいまだ収まりませんが、皆様は元気ですか。お見舞い申し上げます。

日本ハビタット協会が事業を実施しているラオスやケニアは、世界的に見ても安全な生活環境の維持や健康への配慮などが脆弱な地域ですが、現在のところ私たちの支援地域はほとんど感染者が出ず、感染症対策を取りながら、事業を進めています。ご安心下さい。特に、ケニアでのトイレ建設事業は衛生状況を改善するものであり、使用後の手洗いの奨励などはウイルス感染防止にも大いに役立つ事業として力を入れています。

コロナウィルスが世界中に広がり始める寸前の 2 月初めに、私はアブダビで開催された世界都市フォーラムに参加しました。様々なテーマに関してのセッションを聞き、私は改めて女性や子ども等の弱い立場の人々の権利の擁護の重要性を感じました。

「子どもの権利条約」は、18 歳未満の子どもの、人間としての人権を認める世界的な条約で、すべての子どもの最善の利益を最優先にしているというものです。採択されて 30 年が経ちましたが、まだ世界中には飢餓、教育、児童労働、児童婚、人身売買等数多くの課題が残っています。日本国内を見ても、子どもをめぐる事件が後を絶ちません。さらに加えて今回の新型コロナウイルスは、世界中の子どもたちの健全な成長に様々な制限を加えています。

SDGs の目標に付随する 169 のターゲットには「世界中の全ての人」と書きながら、そこに「女性と子どもを含む」とわざわざ書き添えられているところが多く項目にあります。それを目にする度に、女性や子どもを権利の主体者とする考え方が、21 世紀のこの時代になってもまだ浸透していないのだという事実を突き付けられているように感じます。

子どもの人権を守るのは大人の責任であり、義務です。「世界中の誰一人取り残さない」という言葉を常に頭に置きながら、これからも女性や子どもの人権大切に視点を最重要視して、ラオスや国内での KUWA CHOCO 事業を通し、皆様との協力を進めていきたいと感じています。



マイムナ・マモド・シャリアフ国連ハビタット事務局長と



ラオス 教科書プロジェクト

日本ハビタット協会は、2013年からラオスのルアンパバン県で小中学校に絵本や教科書を届けてきました。現地を視察し、先生たちと話し合いをする中で、そもそも、学校に入学して初めてラオス語を学ぶ子ども達が使うラオス語の教科書が不足しており、基本的な読み書きの習得も大変であることがわかりました。

そこで、2017年からは、教科書プロジェクトとして、一人一冊の教科書で勉強ができるよう、小学校を対象にラオス語の教科書を届けています。これまで、ルアンパバン県の12郡のうち、4郡で3500冊の教科書を届けました。今後も、教育局と相談しながら、残る8郡の小学校にも支援を行っていきます。

★教科書プロジェクト 実施地域



☆☆☆☆ プロジェクトが変えた人々の意識 ☆☆☆☆

2018年度、2019年度の教科書プロジェクトは、地域の教育局と農業大学と協力して行いました。教科書の贈呈式に参加した農業大学の学生からメッセージが届いています。



大学生 スックさんからのメッセージ

日本の皆さん、ラオスの子どもたちへの教科書の支援をありがとうございます。教育は子どもたちにとって大切なことです。ラオスでは、特に都市から離れたと貧困地域も多く、子どもたちが勉強をするための十分なサポートを受けることができません。

今回訪れたチョンペット地区の学校も、教科書だけではなく、他にもたくさんの課題を抱えています。特に豊かな自然に囲まれているにもかかわらず、子どもたちが遊ぶグラウンドに多くのゴミが落ちているのが気になりました。そうしたことを子どもたちに教えるのは私たちでもできることだと思うので、外からの支援に頼るだけでなく、地域の子供たちに何ができるかを自分たちなりに考えていきたいです。

プロジェクトに参加したことで、いろんな地域の小中学生と接し、こうしたことを考えるきっかけになりました。感謝しています。もっと勉強して、将来は私もこうしたプロジェクトを実施して、村の暮らしを良くしていきたいです。



早速子どもたち
ゴミ拾いを
実施しました



ラオス 1日3食プロジェクト

2016年から開始したこのプロジェクトでは、寮生活を送る中学生を対象に、しっかりと栄養のある食事をとることができるよう養鶏を通してサポートしています。学校が事業を継続していけるよう、育てた鶏の半分以上を市場などで売ることによって現金収入を得ながら、給食を提供し続ける仕組みづくりを行っています。これまでルアンパバン県のスアンルアン校、パクセン中学校の2校でプロジェクトを実施してきました。

2017年から事業を実施しているパクセン中学校は、ルアンパバンの中心部から車で2時間以上かかる山間部にあります。朝晩や季節による寒暖差も激しく、安定した養鶏を行うのに奮闘していました。さらに、町から遠いため、せっかく育てた鶏も十分な値段で売ることができず、現金収入の向上の面でも課題を抱えていました。そこで、農業大学と相談し、2020年度からは、農業大学の環境保全チームの学生たちが養鶏に挑戦し、育てた鶏をパクセン中学校へ提供します。1校だけでは難しいことも、地域で協力する仕組みをつくることで、しっかりと子どもたちをサポートできるようになります。



子どもたちへ
しっかり栄養の
ある食事を！



ラオス ラオスの子どもたちが安心して学びを続けるために

当協会が事業を行なっているラオスのルアンパバン県は、ユネスコの世界遺産に登録されており、近年人気の観光地として、年間約60万人の観光客が訪れています。新型コロナウイルスの影響で世界的に人の移動が制約されたことにより、観光業が大きなダメージを受け、ラオスの人々の生活にも影響が出ています。

現在、環境教育プロジェクトと一緒に進んでいる農業大学は、観光客が集まるルアンパバンの中心部から車で20～30分の場所にあり、多くの学生たちが週末になるとレストランやゲストハウスで食費や生活費のためのアルバイトを行なっています。しかし、2020年3月中旬以降、多くの学生たちがアルバイトの収入を絶たれ、復帰の見込みも立っていない状況です。学生たちの多くは、貧困地域の出身で、親から生活費の支援を受けられないため、学校をやめてしまう学生が増えることも懸念されています。

そこで、今年度の環境教育プロジェクトでは、学生たちに日当を支給し有機野菜栽培などの活動に従事してもらうことで、事業効果を高めるとともに、学生たちの生活を支援していきます。



ケニア スマイルトイレプロジェクト ～ケニアの子どもたちの未来のために～

当協会は、ケニアのホームベイ県においてスマイルトイレプロジェクトを実施し、各家庭にトイレと手洗い場の設置を進めています。清潔なトイレは、感染症リスクを下げ、貧困や教育環境の改善につながるため、子ども達の命を守り、より良い未来を作ります。

このプロジェクトは、JICA草の根事業に採択され、2019年8月から1331世帯を対象に実施しています。事業開始前には、60%ほどのトイレ普及率でしたが、339世帯でトイレが建設された結果、2020年2月時点で79%に達し、まもなく全世帯にトイレが普及します。

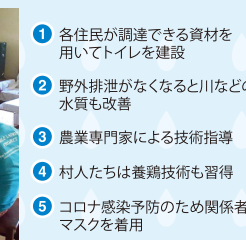
スマイルトイレプロジェクトでは、住民が自らの手でトイレを建設します。建設費も自分たちで負担するため、貧困家庭には収入向上のための農業技術指導も行っています。

新型コロナウイルスから人々を守る

新型コロナウイルス感染が世界規模で拡大している中、医療システムが脆弱なケニアにおいては、大きな脅威となっています。感染を予防し人々の命を守るため、清潔なトイレと手洗い場の設置が強く求められています。

ホームベイ県保健省から要請を受け、2020年度は対象地域をさらに拡大し、トイレ建設と石鹸付きの手洗い場の設置を進めています。現地協力団体のSAWA YUME KENYAの職員をはじめ、保健省職員、各村の衛生ボランティアにはマスクを配布し、ソーシャルディスタンス確保などの感染予防も講じています。

衛生環境を改善することで、感染症のリスクを減らし、ケニアの人々の命と暮らしを守っていきます。



- 1 各住民が調達できる資材を用いてトイレを建設
- 2 野外排泄がなくなると川などの水質も改善
- 3 農業専門家による技術指導
- 4 村人たちは養鶏技術も習得
- 5 コロナ感染予防のため関係者はマスクを着用

子どもたちの笑顔あふれるまちづくりに、ご支援ご協力をお願いいたします！

1,000円のご寄付でラオスの子どもたちに教科書を約3冊届けることができます。また、5,000円のご寄付でケニアにトイレ1基建設することが可能となります。以下の方法でもご寄付を受け付けております。おうちに眠っているものがあれば、ぜひ日本ハビタット協会の事務所宛にお送りください。

★ 外貨コイン / 紙幣 … すでに使えなくなったものを含む全てのコイン、紙幣を受け付けております。

★ 書き損じハガキ … お手数ですが、個人情報塗りは塗りつぶす等してからお送りください。

★ 未使用切手、使用済み切手 … 使用済みの場合、切手の周りを1cmほど残し切り取った状態でお送りください。
※使用済み切手を通したご寄付は、ラオスの子どもの生活環境改善事業に活用させていただいております。

★ 商品券 … QUOカード等の商品券やギフト券を受け付けております。



みなさん
ありがとうございます！